

これからの地域看護のかたち—訪問篇

- 702-707

1

地域包括ケア推進において訪問看護に求められるもの
 ● 上野桂子
- 709-713

2

人間的で持続可能なケアと地域づくりに向けた移行—オランダ・ビュートゾルフを手がかりに
 ● 堀田聡子
- 715-719

3

離島での訪問看護
 ● 柿森悦子
- 721-726

4

小児訪問看護の現状と課題
 ● 梶原厚子



2025年問題を見据え、日本看護協会は看護の将来ビジョンとして「いのち・暮らし・尊厳を守り支える看護」を掲げています。安心して在宅療養を継続していくためには、医療・介護・福祉の橋渡しとなる看護の役割は重要です。訪問看護の対象は高齢者だけでなく、小児、精神疾患、神経難病、在宅ターミナルケアなど多様化し、医療ニーズの高い利用者も増加しています。全国どこに住んでいても24時間365日体制で専門性の高い看護が求められています。今回、訪問看護のさまざまな現場での活動を紹介していただきました。今後の発展に繋がっていただければと思います。

企画担当 ● 山下裕子（訪問看護ステーション花時計，看護師）